



豊作を祈って昔ながらの田植えを再現

おたうえさい
御田植祭



5月29日、猿賀神社近くの神饌田で毎年恒例の御田植祭が行われました。御田植祭は「田植え歌」に合わせて、花笠に白装束姿の田男・早乙女が苗を植える神事で、昭和7年より始まり今年が88回目です。当日は、猿賀小学校5年生が奏でる「田植え歌」に合わせながら、同小5年の児童と氏子ら10人が豊作を願いながら丁寧に田植えを行いました。



▶猿賀小学校5年生20人が合唱とピアノで「田植え歌」を演奏



▶「田植え枠」を使用して、植え付ける場所に印付け



▶神職の先導により神饌田畦畔を一周り



平賀駅前で花の植栽

色とりどりに配色して植えた花をぜひご覧ください

5月14日、柏木農業高校生活科学科の3年生14人が弘南鉄道平賀駅前では花の植栽を行いました。この活動は、園芸ボランティアの一環として毎年行われており、今年は、ペゴニアやマリーゴールドなど同校で作った5種類110本の花の苗を植えました。



新館地区で竹館小5年生が田植体験

どろんこになりながら頑張りました！

5月20日、新館地区で竹館小学校5年生18人が田植体験の農業体験学習を行いました。児童たちは、泥に足をとられて苦戦しながらも、1時間程かけて丁寧に苗を植えていました。今後は秋に収穫体験を行う予定です。



柏木農業高校 全校田植大会

4学科が田植えの速さ・正確さ・仕上がりを競う！

5月29日、柏木農業高校の校内の水田で、恒例の全校田植え大会が開催されました。一斉に田んぼに入った生徒たちは、不安定な足元に大きな歓声を上げながら楽しんでいるようでしたが、次第に作業に集中していく様子が見られ、声を掛け合うなど互いに連携しながら取り組んでいました。



わんぱく農園開園式

サツマイモの苗を植え付け。「おいしくなあれ！」

5月29日、津軽みらい農協が管理する南田中地区の「わんぱく農園」で開園式が行われました。開園式に招かれた、日の出こども園と金田小学校の子どもたち122人は農協女性部に苗の植え付け方を教えてもらいながら、丁寧に植え付けをしていました。

白岩まつり 昨年より沢山のツツジに彩られて



5月25～26日、尾崎地区の白岩森林公園で白岩まつりが開催され、新緑の緑と色とりどりのツツジ、雪のように白い岩肌のコントラストが参加者たちの目を楽しませていました。また、会場では、尾崎獅子踊保存会による獅子踊りやAOMORI花嵐桜組の演舞、カラオケ大会や今千里さんによるミニコンサートが行われ、多くの人々に賑わいました。

農家蔵めぐり 昔ながらの街並みを堪能



5月25～26日、金屋地区の蔵並み通りでまち歩きツアー「農家蔵・農家庭園めぐり」が開かれ、養成講座を受けた地元学生15人がガイドを務めました。参加者たちは、国登録有形文化財に登録されている農家蔵と手入れの行き届いた庭園を1時間ほどかけて散策し、昔ながらの風情が残る街並みを堪能しました。